

令和元年6月市議会定例会は6月4日から26日まで(会期23日間)開かれました。
 今回は9人の議員が市政一般に対する質問を行いました。
 また、市長から提出されました議案9件(条例5件、予算2件、その他2件)の議案について審議し、いずれも原案どおり可決したほか、意見書1件を可決しました。

主な議事日程		開会・提案理由説明
6月	4日	開会・提案理由説明
	5～6日	議案研究
	7日	議案質疑
	17～20日	委員会審査
	24～25日	一般質問
	26日	討論・採決・閉会

主な議案

廃棄物処理費用の改正について

令和2年度より供用開始される廃棄物処理施設クリーンヒル天山への持ち込み廃棄物の各種処理手数料が改定されます。

庁内業務用パソコンの購入について

● 庁内業務用のパソコン、293台を3786万円で9月末納入で購入する。

一般会計補正予算

2059万円を増額し、総額126億5559万円とする。

● コミュニティ助成事業 290万円
 横柴折区・宋町区へコミュニティ活動用品の整備及び防災資機材の整備に対する助成。

● 臨時特別給付金支給事業 71万円

子どもの貧困に対応するため、未婚のひとり親に対し臨時給付金の支給を実施。

● 孔子の里イルミネーション事業 80万円
 集客増を目的とした多久聖廟周辺のイルミネーション整備へ交付。



● 災害対策に要する経費 300万円
 正院谷ぼた山に関する地質調査委託料。

議案質疑

議案第26号
**債務負担行為補正
 リサイクルセンター業務
 委託料5億8618万円
 について**

平間 智治

質問 債務負担行為を行った理由は、また業務委託の内容、契約期間は、

答弁 現在の業務委託契約は今年度で終了します。



ごみの回収という市の責務である行政サービスを停滞させることなく安定的に継続させるために、業者選定等の準備を今年度から行い、

主な議案

廃棄物処理費用の改正について

令和2年度より供用開始される廃棄物処理施設クリーンヒル天山への持ち込み廃棄物の各種処理手数料が改定されます。

庁内業務用パソコンの購入について

● 庁内業務用のパソコン、293台を3786万円で9月末納入で購入する。

一般会計補正予算

2059万円を増額し、総額126億5559万円とする。

● コミュニティ助成事業 290万円
 横柴折区・宋町区へコミュニティ活動用品の整備及び防災資機材の整備に対する助成。

● 臨時特別給付金支給事業 71万円

子どもの貧困に対応するため、未婚のひとり親に対し臨時給付金の支給を実施。

● 孔子の里イルミネーション事業 80万円
 集客増を目的とした多久聖廟周辺のイルミネーション整備へ交付。



● 災害対策に要する経費 300万円
 正院谷ぼた山に関する地質調査委託料。

可決された意見書

▼ 教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

ゆたかな学びの実現のためには、教職員定数改善は欠かせません。厳しい財政状況の中、自治体間の教育格差が生じることは大きな問題です。国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられるよう、次の2点を要望いたします。

- ① 教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- ② 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。



市民へ安定した公共サービスの提供が行えるよう、来年度に向けた準備を行います。
 委託内容は、市内の一般廃棄物の収集運搬業務及び来年度、令和2年4月から稼働予定の多久市リサイクルセンターでの内部業務となります。
 委託契約期間は、令和2年4月1日から令和10年3月31日の8年間を予定しています。

議案第26号
**母子父子福祉費
 臨時特別給付金
 支給に要する経費
 71万円について**

平間 智治

質問 事業の詳細は、また受給対象者の条件と対象者数は、

答弁 消費税率アップにあわせ、未婚のひとり親に対して1万7500円を児童扶養手当に上乗せして支給します。

受給対象者は、今年11月分の児童扶養手当の受給者のうち、10月31日において婚姻をしたことがない方で3月末で27名の方です。

議案第26号
**教育総務費
 事務局費補正額
 80万円について**

中島 慶子

質問 事業の詳細は、

答弁 事務局運営、東原庁舎西深校後期課程社会科が県教委より新学習指導要領指定事業の研究委託事業、東原庁舎中央校が県教委より小中連携にかかる学力向上推進地域指定事業の研究委託事業です。

質問 学校現場において、先生方の多忙さ、長時間勤務の現実がある中で、先生方の負担増につながることは無いのか。

答弁 定時退勤時刻の設定や時間外勤務の削減、ICT機器の利活用による教職員の業務内容の改善など、業務改善の努力をしています。今回の事業についても、働き方改革の趣旨に沿って進めていきます。

質問 給食会計(特別会計)内の未収金1169万円に対する今後の対応について。

野北 悟

答弁 継続して郵便による納入催告、夜間の訪問などにより収納に努めます。

野北 真面目に納めている保護者のお金で、滞納者の給食費を負担している現在の仕組みはおかしい。教育的理由で止められないなら行政側が負担して他の市債権と同様に収納対策委員で対応し業務の効率化を行うべきだ。

答弁 議員から提案があったように、市債権、未納者への貸し付けなど、法律上可能なものか、他の方法など研究して理事会に諮りながら努力していきたいです。

